

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2007/05/15 改訂日: 2023/05/10 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : DENATITE XNR3324
製品コード : P11100-AA1073

会社情報

供給者

ナガセケムテックス株式会社 機能樹脂事業部
兵庫県たつの市龍野町中井 236 (本社: 大阪市西区新町 1-1-17)
T 0791-63-3970 - F 0791-63-9199

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 0791-62-0862

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分 3
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 1B
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分 2
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 皮膚刺激 (H315)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

強い眼刺激 (H319)

吸入すると有毒 (H331)

吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)

遺伝性疾患のおそれ (H340)

発がんのおそれ (H350)

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)

水生生物に非常に強い毒性 (H400)

長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全対策

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
- 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 環境への放出を避けること。(P273)
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
- [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。(P284)

応急措置

- : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
- 医師に連絡すること。(P311)
- 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
- 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。(P342+P311)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 漏出物を回収すること。(P391)
- : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
- 施錠して保管すること。(P405)
- : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

保管

廃棄

他の危険有害性

GHS で扱われない他の危険有害性

- : 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	30~40	—	(7)-1283	—	25068-38-6
ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂	10~20	—	(7)-1285	—	9003-36-5
シリカ	<10	—	登録あり	—	登録あり
トリグリシジルイソシアヌレート	<1	—	(5)-1052	—	2451-62-9

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医者を呼ぶ。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- : 漏出物を回収すること。

浄化方法

- : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報

- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- : 作業所の十分な換気を確保する。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
換気の良い場所で取り扱うこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレー、粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
飲み込まないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
- : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
- : 取扱い後はよく手を洗うこと。
作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

接触回避

衛生対策

保管

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全な保管条件

- ：『10. 安定性及び反応性』を参照。
- 消防法、毒劇法等適用法令の定めるところに従う。
- 直射日光、高温、多湿を避ける。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 冷所(指定保管温度がある場合はその温度)及び暗所にて保管する。
- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。
- 容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料

- ：消防法、毒劇法、国連輸送法規等適用法令の定めるところに従う。
- 包装形態のまま、保管する。他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ：防爆の電気・換気・照明機器を使用すること、静電気放電に対する予防措置を講ずること、本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい、取扱いについては適切な換気装置を設置した場所で行う、作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具

- ：適切な呼吸器保護具を着用すること、[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- ：保護手袋は不浸透性のものを用いること。

眼の保護具

- ：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、顔面用の保護具を着用すること、安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

- ：必要に応じ不浸透性の保護衣（前掛け、ゴム長靴など）を用いること。

環境へのばく露の制限と監視

- ：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

- ：液体

外観

- ：ペースト

色

- ：灰黒色

臭い

- ：データなし

pH

- ：データなし

融点

- ：データなし

凝固点

- ：データなし

沸点

- ：データなし

引火点

- ：227 ° C

引火点測定方式

- ：クリーブランド開放式

自然発火点

- ：データなし

分解温度

- ：データなし

可燃性

- ：データなし

蒸気圧

- ：データなし

相対密度

- ：データなし

密度

- ：約 1.54 (25°C)

相対ガス密度

- ：データなし

溶解度

- ：なし (水に対する溶解性)。

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
その他の性質	: 粘度 : 90Pa·s (25°C)。
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の手扱い条件において、単独では安定である。
化学的安定性	: 通常の手扱条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸、強アルカリ、酸化剤、エポキシ樹脂用硬化剤と反応する。
避けるべき条件	: 高温の物体、火花、裸火、静電気火花。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 熱分解や燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素等の有害性ガスや蒸気が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 吸入すると有毒
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 強い眼刺激
呼吸器感受性	: 吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ
皮膚感受性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 反復接触により感受性の皮膚炎を生じる。労働基準法通達 (H8.3.29 基発第 182 号の 2) に従って労働衛生上の措置をとる必要がある。
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれ ビスフェノール A 型及び F 型液状エポキシ樹脂は、安衛法に定められた有害性調査の結果、微生物を用いる変異原性試験及び哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の 2 種類の変異原性試験で所定の基準を超える変異原性が認められており、健康障害を生ずる可能性がある。「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」 (H5.5.17 基発第 312 号 2 の別添) に定める措置をとる必要がある。
発がん性	: 発がんのおそれ
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に非常に強い毒性

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

残留性・分解性

DENATITE XNR3324	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

DENATITE XNR3324	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

DENATITE XNR3324	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
- 残余廃棄物 : 残余廃棄物廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、又は都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
焼却する場合は、アフターバーナー及びスクラパー付きインシナレーター（灰化炉）の中で焼却すること。
- 汚染容器及び包装 : 汚染容器及び包装汚染容器及び包装容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

- 国連番号(UN RTDG) : 3082
- 正式品名 (UN RTDG) : 環境有害物質（液体）
- 容器等級(UN RTDG) : III
- 輸送危険物分類 (UN RTDG) : 9
- 危険物ラベル (UN RTDG) : 9



クラス (UN RTDG) : 9

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 171
その他の情報	: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	: 変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） 結晶質シリカ（政令番号：165の2）（1%未満） 1, 3, 5-トリリス（2, 3-エポキシプロピル）-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6（1H, 3H, 5H）-トリオン（政令番号：397）（1%未満） 安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質（安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号）
消防法	: 第4類引火性液体、第四石油類（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申）
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1）
船舶安全法	: 有害性物質（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	: その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1） 感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報

連絡先	: 『1. 化学品及び会社情報』の項に記載。
参考文献	: 本 SDS は、Lisam 社の提供する「ExESS」により作成しており、主要な情報は当システム内のデータに基づいています。 《その他の情報源》 ・ 日本ケミカルデータベース(株) ・ 原料メーカーSDS。

安全データシート

DENATITE XNR3324

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

その他の情報

：【本 SDS における判定対象法規】

化審法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、オゾン層保護法、麻薬及び向精神薬取締法、覚醒剤取締法、消防法、悪臭防止法、大気汚染防止法、海洋汚染防止法、外国為替及び外国貿易法、船舶安全法、航空法、港則法、道路法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）、火薬類取締法、高圧ガス保安法、水道法、下水道法、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)、ダイオキシン類対策法、労働基準法、農薬取締法、じん肺法、土壌汚染対策法、建築基準法。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。